

令和7年12月 斐伊川水系水質情報

令和7年12月(宍道湖1日・中海2日採水)							単位:mg/l(Chl-a: μg/l)			
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.8	△	平年並み	3.4	△	平年並み	4.4	△	平年並み
全窒素	上層	0.47	△	平年並み	0.34	○	良好(平年並み)	0.44	△	平年並み
全リン	上層	0.030	○	良好(平年並み)	0.040	△	平年並み	0.048	△	平年並み
Chl-a	上層	36	△	平年並み	12	△	平年並み	31	△	平年並み
塩化物イオン	上層	3,230	△	平年並み	11,600	△	平年並み	7,800	△	平年並み
	下層	3,260	△	平年並み	17,900	×	やや高い	15,100	×	やや高い
溶存酸素	上層	12.4		平年並み	11.0		平年並み	12.2		平年並み
	下層	11.7		平年並み	3.1		平年並み	2.0		かなり低い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.6	横ばい	3.9	下降	5.3	やや下降
全窒素	上層	0.47	横ばい	0.39	やや下降	0.51	やや下降
全リン	上層	0.027	横ばい	0.045	横ばい	0.067	やや下降

宍道湖の透明度は1.6mから1.7mと横ばいで、平年並み。中海の透明度は1.7mから2.0mとやや上昇し、平年並み。米子湾の透明度は1.8mから1.7mと横ばいで、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★ <非常に高い>
平均値+標準偏差値の3倍	↑	☆ <かなり高い>
平均値+標準偏差値の2倍	↑	× <やや高い>
平均値+標準偏差値 10年間平均値 平均値-標準偏差値	↑	△ <平年並み> ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	↓	○ <良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値-標準偏差値の3倍	↓	◎ <かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注)平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ 99.7%